

2022年度第3学期終業式校長挨拶

皆さんおはようございます。

春が近づいてきました。桜も早いですね。大講堂の前や千川通りのソメイヨシノも咲き始めています。

さて、今日の終業式では大きく三つの報告をします。

一つ目は、この3学期における武蔵生諸君の活躍です。たくさんありますが、順次ご紹介します。

まず高2生が第22回高校生・高専生科学技術チャレンジ大会で見事優秀賞を受賞しました。研究テーマはクレーターから探る太陽系外延部の氷衛星の表層進化史です。冥王星、天王星の表面地形クレーターを解析するというもので、その成果が高く評価されました。おめでとうございます。

続いて高2生が第66回全国学芸サイエンスコンクールで見事入選。旺文社赤尾好夫記念賞を受賞しました。研究テーマは東京都における河川・水路の分類とその将来性・あり方です。地下に埋没させて見えなくした河川・水路のことを暗きよといいます。その暗きよを地道に探っていた労作です。おめでとうございます。

続いて高1生が2023年日本言語学オリンピックで見事金賞を受賞しました。これは言語を分析する能力を競う科学オリンピックの一つで、見事金賞を受賞しました。今後、アジア太平洋大会があり、そこで上位成績を取めると世界にもつながるということで、頑張してほしいと思います。おめでとうございます。

続いて高1生が第26回算額をつくろうコンクールで見事最上位の金賞を受賞しました。和算という言葉 皆さんは知っていますか。算額とは江戸時代にはやった和算の問題を絵馬に書いて神社に奉納したものです。五行説と四神・五神を表す構図が高く評価されました。おめでとうございます。

続いて高校生と中学生。生物部の諸君が関東の生物部が集まって行われた「生物研究の集い」で口頭発表及びポスター発表を行い、見事「フィールド賞」を受賞しました。いずれも、武蔵のキャンパスで見られるスズメバチ、ヒキガエル、ハイタカ、カワセミを研究テーマとして扱ったことが評価されました。おめでとうございます。

続いて、中3生。プログラミング分野でのチームでの受賞です。彼らが参加した情報セキュリティの力を競う「第2回 Cyber Sakura」予選で見語1位通過。春休みに福井県鯖江市で行われる決勝ラウンドに招待されました。頑張ってください。おめでとうございます。

さらに、同じく中3生が参加した Minecraft カップ 2002 全国大会において、一次審査は突破したものの、最終審査に残ることはできませんでしたが、「東京地区ブロック奨励賞」を見事受賞しました。おめでとうございます。

さらに、このうちの一名の生徒は第22回日本情報オリンピック予選さらに本選に参加し、優秀賞を受賞しました。このあと合宿を経て、優秀な成績を取めた場合は世界にも道はつながっているそうです。頑張ってください。おめでとうございます。

私は以上の皆さんの何かをやってみようというチャレンジ精神を讃えたいと思います。中高時代に大事なことは、一にチャレンジ、二にチャレンジ、三にチャレンジ。狭い世界を飛び出して何かにチャレンジすることです。

今週の水曜日、特別授業の一環で、武蔵のOBで61期卒の山田澄生先生の海外留学に関する講演会がありました。山田先生は、数学の研究者です。武蔵高校卒業後、アメリカプリンストン大学に直接進学、その後スタンフォードで学位を取られ、全米各大学で教鞭をとられたのち、今学習院大学におられます。

その山田先生が、武蔵からプリンストン大学に進学したきっかけは、武蔵の校内に貼られていた「近衛プリンストン奨学金」のポスターだったそうです。まだ留学が今ほど一般的でなかった時代ですが、それをみてビビッときて応募。面接試験で「君の英語力は低いね」といわれながら、単身アメリカにいったことから始まったそうです。

武蔵に貼ってあるポスターもそうですが、何とかオリンピックやら、何とかセミナー、あるいは本日グーグルに案内されていましたが高校総合講座など、学校内外の色々なところに素晴らしいプログラムがあります。

要はチャレンジするかしないかだけだと思います。アクションをするかしないかだけです。人生は一度きり。やらないで後悔するよりやって後悔してみてください。ぜひ情報収集のアンテナを貼りながら、武蔵生の皆さんには色々なことに挑戦して欲しいと思います。

二つ目の話は、コロナについてです。

思い返せば3年前の3月2日。政府が発した突然の全国一斉休校宣言からコロナとの戦いが本格化しました。そして今、5月のGW明けからはコロナの扱いが二類から五類に変わるといふことで、いよいよコロナも明けようとしています。やっぱり三年かかりましたね。

マスク生活もいよいよ変わろうとしています。国からも通知が来ていますが、卒業式については、晴れの舞台ということで、生徒・教員はマスク着用は任意。ただし歌を斉唱するときは着用となります。また、参列する保護者については、マスク着用を推奨します。

春休みが過ぎて4月からの過ごし方については、また改めて来年度の始業式のときにお話ししますが、マスク着用は基本的に任意、個々判断となる予定です。4月にはいよいよ記念祭。久しぶりに、コロナ前の状態にかなり戻ってきたと思います。ぜひ、来場者のお客さんに楽しんでいただけるよう、準備を進めていってほしいと思います。

一方で、コロナが明けていくことを期に、先生方でこの一年間議論してきたトピックが二つあります。

一つは皆さんの進級・卒業規程。それから出欠席の扱いについてです。

まじめに学校生活を送っている生徒にとっては関係のないことですが、コロナ禍もあって、欠席がかさんだり、遅刻や欠課がかさんだりした生徒も多くなっている現状がありました。

やむをえない理由がある場合は、寛大に大らかに見ていく必要はありますが、一方で理由のつかないことについては、ある意味では、厳しくしっかりと対応していくことが必要だと考えています。

このため、現行の進級・卒業規程については、出欠や遅刻・欠課の扱いも含め、よりシンプルに、そして最低皆さんには守ってもらえる基準づくりについて検討してきました。詳しくは、来年度4月の始業式でお話ししたいと思います。

もう一つは、先生方の働き方改革についてです。

これは今日本中でも話題になっています。日本の先生は世界的に見て労働時間が長いと。確かにそう思います。先生方は、皆さんから見える仕事だけでなく、見えない仕事をたくさんやっています。

朝早くから夜遅くまで、土日もなく働かざるを得ないという状況は、これは他の企業でも同様ですが、心身の健康の視点から良くないことだと思います。

我々教員は、「生徒のため」と思うと、とことん付き合いたいと思いますが、やはりそ

の部分についてメリハリが求められています。

特に部活動の顧問の問題は、大きな課題です。全国的にもニュースで話題になっているように、部活動を地域に移行するとか、今年度武蔵でも始めましたが、部活動指導員の仕組みを導入するなどの制度変更も始まっています。

武蔵においても、コロナ禍では、生徒の下校時間も従来よりは短くし原則6時までとしてきましたが、今後どうするか。また顧問の先生方も、何かの事態に備えて、部活動活動中は活動につきあえなくても校内に待機していましたが、そのやり方をどうするか。

この働き方改革の点についても、検討した結果については来年度4月の始業式でお話したいと思います。よろしく申し上げます。

最後に三点目。

今年度いっぱい武蔵を去られる先生方を紹介します。皆さん非常勤として、授業や事務を担当していただきました。

本当にお世話になりました。どうも有難うございました。

このあとは中3生の中学卒業式。そして明日はいよいよ高3生の卒業式になります。良い式にしたいと思います。よろしく申し上げます。

在校生の皆さんはそのあと春休みに入りますが、コロナ明けは見えているものの、改めて体調管理には注意してください。おかしいなと思ったら決して無理をせずに、春休みを過ごして行ってください。また四月に元気な顔で会いましょう。

ご清聴ありがとうございました。